

白浜町農業集落排水事業経営戦略【概要版】

令和3年3月

和歌山県西牟婁郡白浜町

白浜町農業集落排水事業 経営戦略の概要

1. 事業の現況等

本事業は平成7年度に着手し、平成12年度より供用開始後20年を経過している。

下図の処理区域において、令和元年度実績で処理区域内人口は206人、水洗化人口は134人となっている。

施設は処理場が1箇所、マンホールポンプが2箇所設置されており、管きよは約3.6km布設されている。

項目	数値	
供用開始年度	H12.12	
法適（全部適用・一部適用）非適	非 適	
処理区	全体計画面積	9 ha
	全体計画人口	560 人
	処理区域内人口 (R1実績)	206 人
	水洗化人口 (R1実績)	134 人
	水洗化率 (R1実績)	65.0 %
施設	終末処理場数	1 箇所
	マンホールポンプ	2 箇所
	管きよ	3,628 m



表1 事業概要

図1 処理区域図

2. 更新需要予測

計画期間（R3年度～R12年度）において、処理場やマンホールポンプの機電設備の更新が発生する予測となる。そのため、適切な維持管理を行い長寿命化と更新を合理的に行うものとする。

当面は長寿命化対策として、最適整備構想業務で算定した令和2年度から令和31年度までの30年間の更新費用241.15百万円を平準化した8百万円/年の更新費用を見込んでいる。

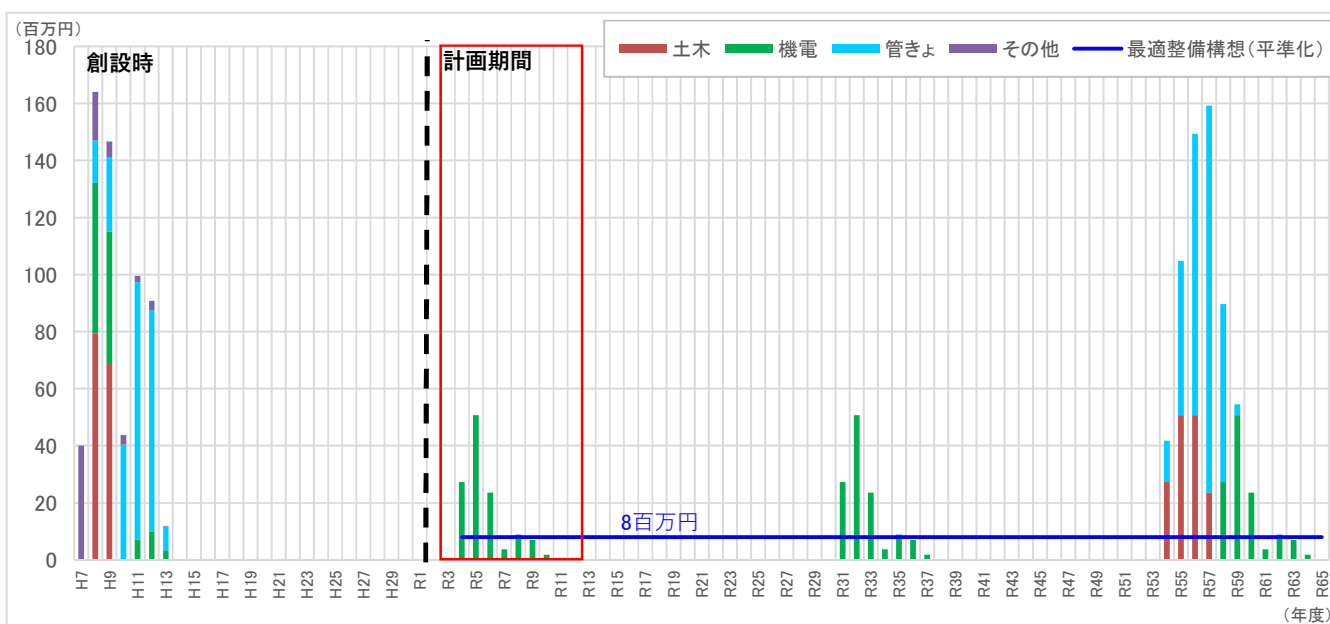


図2 更新需要額の予測（百万円）

3. 財政収支計画

- 将来の財政収支について、令和5年度からの地方公営企業法の適用を想定している。
- 使用料は、現行の使用料体系で予測している。（図3）。
- 図4のとおり、建設改良費は近年は発生していないが、令和4年度以降は長寿命化対策費として8百万円を見込んでいる。なお、令和2年度～令和4年度については地方公営企業法適用支援業務委託費を見込んでいる。
- 図5のとおり、大幅な料金値上げをしない限り、一定の繰入金が必要となる。
- 図6のとおり、令和5年度の法適化に伴い、減価償却等を計上しているため、収益的収支で赤字が発生する。減価償却費は将来の更新財源として内部留保されるものである。

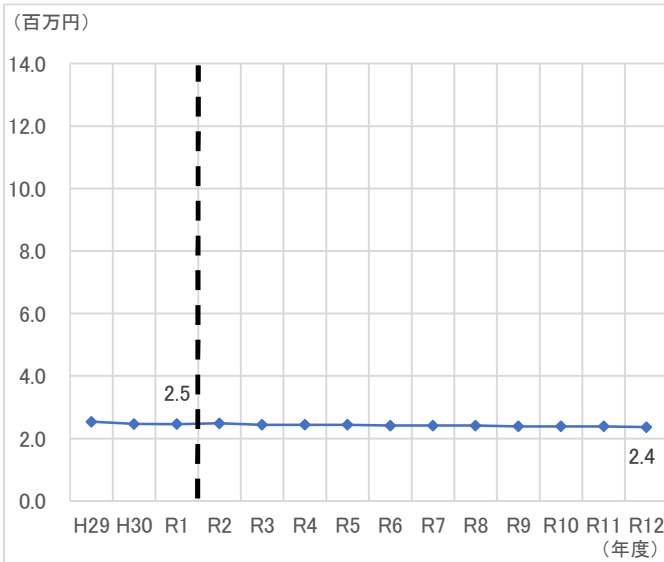


図3 使用料 (百万円)

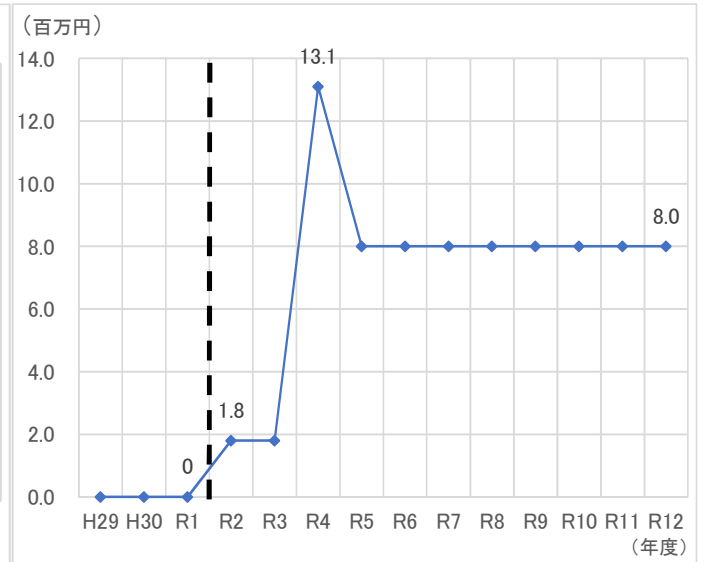


図4 建設改良費 (百万円)

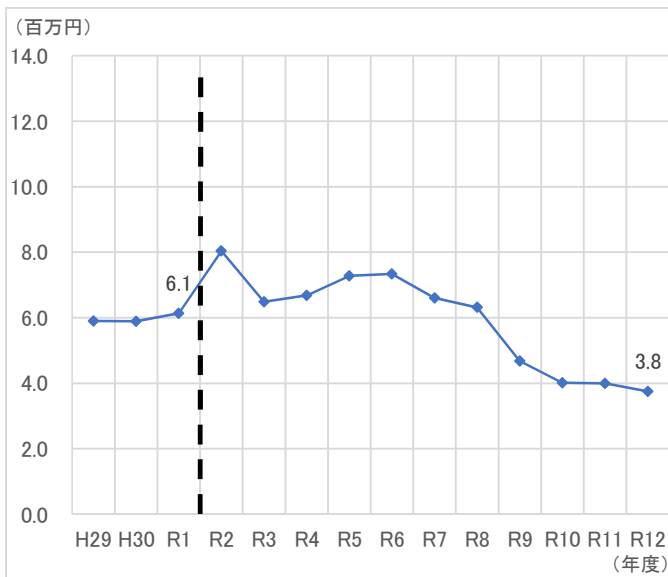


図5 一般会計繰入金 (百万円)

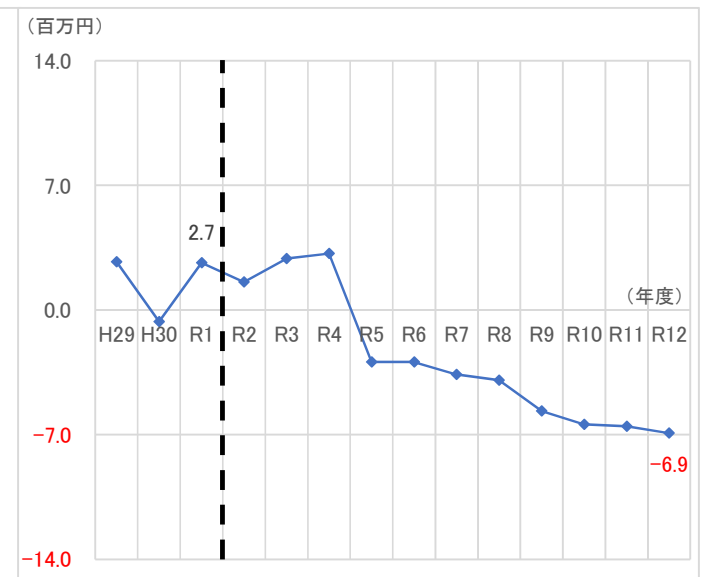


図6 収益的収支 (百万円)

4. まとめ

本事業規模では独立採算は難しく、現行の使用料体系における受益者負担のみでは事業経営が困難なため、維持管理費や投資等の支出の低減に努めるとともに、一般会計からの繰入金も含めて健全な経営に努める。